

【銅賞】

氏名 = 太田 桃加（江南市）

書名 = コンビニもない町の義肢メーカーに届く感謝の手紙

著者名 = 中村 俊郎

題名 = THINK！

「本気で善をなす会社」という見出しで書かれた一つの記事。それに私の目は釘付けになっていた。

私はこの夏、中村俊郎さんの話を聞く機会をいただいた。その事前学習として、中村さんについてインターネットで調べる中、ある記事にたどり着いた。「本気で善をなす会社」中村さんは利益を追うのではなく、あえて利益を生まない困難な道を選び、そこから得られる喜びを原動力として働いているとあった。その時丁度、各地で食品偽装問題が広がっており、消費者を置き去りにし、利益だけを追求した結果が浮き彫りになっていた。そんな時だったからこそ、中村さんのする仕事は、お客様を喜ばせることを第一としていて、そんな中村さんの姿勢に私は感銘を受けた。

そして、中村さんの著書「コンビニもない町の義肢メーカーに届く感謝の手紙」を手にとった。中村さんは、鳥根県の小さな町で、「中村ブレイス」という義肢メーカーを経営されている。タイトルにある、コンビニもない町、そんな町で本当に人を喜ばせる仕事ができるのかと私は不思議に感じた。けれども、中村さんは著書の中で、「大規模な営業活動をしなくても、本当に欲しいと願っている方のために、希少価値のあるものを作ることはできるはずだ」と語る。中村さんは、鳥根の小さな町から、全国、そして世界へと義肢を必要としている人の支えとなっているのだ。

「THINK」中村さんが著書の中で繰り返した言葉。この言葉は中村ブレイスの社是でもある。「THINK」という言葉を目にした時、頭をよぎった言葉がある。「悩むのではなく、考えなさい」ははっきりと意味を理解することができなかったあの言葉。なぜなら、「悩む」も「考える」も私には同じ行為に思えてならなかったからだ。しかし、よく調べてみると、この二つは全く異なっていた。つまり、「悩む」は解決策が出ずに思い煩うこと。「考える」は筋道を立てて、答えを出すこと。この意味を知ったとき、「悩むのではなく、考えなさい」という言葉の真の意味を知り、また頭をよぎった理由も理解できた。「悩むのではなく、考えなさい」という言葉と著書の中の「THINK」が繋がった瞬間だった。「THINK」つまり「考える」ことの大切さ。「装具の仕事には、終着点がない」と著書にある。そして「それだけにやりがいのある仕事」と結ぶ。終着点が見えないのに、それでも中村さんが「THINK」し続ける理由。それは中村さんの仕事が「誰でもいい」のではなく、「必要としている誰か」が常にいるからだと感じた。

私自身も、「THINK」し続けたい。

「私のことを必要としている誰か」のために。自分のことだけでなく、少しでも他者のことを、他者のために、「THINK」することができたならば、世界はもっと優しさで包まれるはずである。今、私達に必要なのは、「THINK」ではないか。